

資料ID	2022-08-28_223936_TW::2021-09-15_110014:@9jtCdbGf3lih8Fe::1437959410693722112
URL	https://twitter.com/9jtCdbGf3lih8Fe/status/1437959410693722112
アカウント	@9jtCdbGf3lih8Fe
ユーザ名	弁護士 岸本 学
ツイートの記録日時	2022-08-28_223936_



弁護士 岸本 学

@9jtCdbGf3lih8Fe · フォローする



痴漢で犯人を捕まえた後、犯人の弁護士が最初に持ち掛けてくる「示談金」の額は20～30万円がほとんど。  
到底、被害に見合わない。

痴漢被害の「実態」がもっと広く認知されるべきだ。

田中ひかる @tanakahikaru77

60年以上前に遭った痴漢被害をいまだに思い出し、胸が痛むという女性の投稿(今朝の朝日新聞)。

すごくわかる。

ひととき

近所でマンションやホテルの建築工事をしている。休憩する作業着姿の若い男性をよく見かけるようになり、思いつくことがある。60年以上前のことだ。私は都内の銀行に勤めていた。その朝もいつものように家を出て、都電の停留所に向かっていた。少し歩いたところで、前から作業着姿の若い男が4、5人、こちらに向かってきた。嫌な予感がしたが、道が狭く、逃げようがない。すれ違いざま、1人が私の胸をつかんだ。一瞬の出来事だ。男たちはあざ笑いながら、工事現場へ入っていった。私は悔しくて、蹴飛ばし

何十年経とうとも

たかったが、相手は複数人。かなうはずもない。それに、まごまごしては遅刻してしまう。にらみつけるのがやっとだった。夜、父が警察に行ったが、相手がわからないのどうやむやみになってしまった。今も昔も、痴漢は絶えない。誰にも言えず、つらい思いをしている女性が多いと思う。私の胸を触った彼らは、もう覚えてもいないだろう。いま働いている目の前の彼らが、悪くないことはわかっていて。それでも、何十年経っても、その情景がはつきりとよみがえってしまい、胸が痛む。

横浜 市  
上野 静子  
無職 83歳

午前11:00 · 2021年9月15日



♡ 73    💬 返信    🔗 リンクをコピー

[2件の返信を読む](#)